

# 大会名称：第73回国民体育大会 バスケットボール競技会 (福井しあわせ元気国体2018 バスケットボール競技会)

開催場所: 福井県営体育館 Mコート

試合区分: No. 45 少年男子 準決勝

期　　日：2018(H30)年10月4日(木)

開始時間：10:00

終了時間：11:30



主審：松本 究（佐賀県）

第1副審：稻葉 威（茨城県）

第2副審：浮池 亮太（福井県）

<b>福岡</b> (九州)	○ <b>82</b>	15 — 17 31 — 18 14 — 15 22 — 24 — — —	● <b>74</b>	<b>千葉</b> (関東)
-------------------	----------------	---	----------------	-------------------

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、千葉はゾーンディフェンス、福岡はハーフマンツーで試合開始。序盤、両チームは連戦の疲れか、シュートが決まらず開始2分間ノーゴール。千葉は#5、#9の3Pを中心に加点し、12-5とリード。対して福岡は、#13のインサイド、#4のドライブや速攻、#8、#11の3Pで追い上げ、17-15の千葉2点リードで第1ピリオド終

了。  
第2ピリオド、開始すぐに福岡#4の3Pが決まり17-18と福岡が逆転。福岡は#6を中心とした固い守りからの速い展開で#6、#7が得点。また#11、#13の3Pも決まり、そのまま18-18に持ちこむ。その後、西宮#15の3Pで18-19と福岡を上回る。最終的に西宮#15が19-19で試合終了。

まり出し、残り1分33秒29-40となったところで千葉がタイムアウト。その後、千葉#8、福岡#6が3Pを入れ合い、35-46で福岡11点リードで前半終了。

第4ピリオド、千葉は#9、#14を中心に行き回る。対して、福岡は#6、#7の速攻を中心に得点し、点差を縮まらせない。67-79の残り2分40秒で千葉はタイムアウト。 ファールプレーなどで出たなんとか追いつけようと試みるが、フリー8で福岡の勝利となつた。福岡の堅実な試合運びだけでなく、最後まで諂ひめず全力で闘つた千葉も称えたい。

担当者：近本 能弘((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本体育協会 (公財)日本バスケットボール協会 (一社)福井県バスケットボール協会

